

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 790 号	氏名	岩永 直樹
学位審査委員	主査	西田 教行	
	副査	高橋 晴雄	
	副査	森内 浩幸	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、抗菌活性を有しないエリスロマイシン誘導体 EM900 による免疫修飾作用を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>C57BL/6 マウスを用いて肺炎球菌の鼻咽頭定着試験を行い、その際の定着菌数、炎症細胞解析、サイトカインおよびケモカインの mRNA の定量を行い、EM900 および他のマクロライド系抗菌薬の作用を比較検討している。さらに腹腔内マクロファージを分離培養し、EM900 の細胞内シグナル因子に与える影響を詳細に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、EM900 およびマクロライド系抗菌薬は、肺炎球菌の鼻咽頭定着を抑制し、それはマクロファージ依存性であることを示した。侵襲性肺炎球菌株を用いた解析では、EM900 投与がマウスの生存率にも影響することを明らかにしており、今後の臨床研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は肺炎球菌感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			